



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月28日

上場取引所 東大

上場会社名 宝ホールディングス株式会社
コード番号 2531 URL <http://www.takara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大宮 久

問合せ先責任者 (役職名) IR室長

(氏名) 木下 勝仁

TEL 075-241-5124

四半期報告書提出予定日 平成23年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	147,969	0.0	9,274	0.2	9,298	△2.1	4,757	△10.9
22年3月期第3四半期	147,932	△1.1	9,253	2.4	9,499	4.4	5,342	△10.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	22.85	—
22年3月期第3四半期	25.35	25.34

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	207,451	108,320	46.2	461.48
22年3月期	195,495	109,206	49.4	459.92

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 95,821百万円 22年3月期 96,666百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	8.50	8.50
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	8.50	8.50

(注)当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	192,400	1.0	8,800	2.7	8,900	2.0	4,700	0.5	22.59

(注)当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 _____）、除外 一社（社名 _____）
（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無
（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）
① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 217,699,743株 22年3月期 217,699,743株
② 期末自己株式数 23年3月期3Q 10,060,170株 22年3月期 7,519,781株
③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 208,174,206株 22年3月期3Q 210,782,193株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

平成22年11月4日発表の連結業績予想の見直しは行っていません。本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	2
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) セグメント情報	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の連結売上高は、宝酒造グループでは景気低迷やデフレの影響を受け、焼酎ハイボールが好調なソフトアルコール飲料、料理清酒が好調なその他調味料を除き全般に低調に推移いたしました。新規に連結子会社としたFOODEX S. A. S. (フランス)の売上が加わったことにより若干の増収となりました。タカラバイオグループでは、理化学機器の減少や円高の影響を受け減収となりました。この結果、その他のセグメントを加えた連結売上高は、前年同期比100.0%の147,969百万円となりました。

利益面では、売上総利益は若干の減少となりましたが、販売費及び一般管理費が減少したため、営業利益は前年同期比100.2%の9,274百万円と微増となりました。営業外損益では、持分法による投資利益の減少と、前期の為替差益が為替差損に転じたこと等により前年同期比97.9%の9,298百万円と減益となりました。

特別損益では、投資有価証券売却益を計上いたしましたが、資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う過年度減価償却費等もありましたので、税金等調整前四半期純利益も前年同期比97.3%の9,030百万円と減少いたしました。さらに、資産除去債務に関する税効果が認識出来なかったことなどもあり、四半期純利益は前年同期比89.1%の4,757百万円と減益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は207,451百万円となり、前連結会計年度末に比べ11,955百万円増加いたしました。増減の主な内訳は、年末の最需要期による受取手形及び売掛金の増加14,984百万円や、FOODEX S. A. S.の買収に伴うのれんの増加2,365百万円、上場株式の時価下落による投資有価証券の減少2,252百万円などでありま

す。負債合計は、社債の発行10,000百万円、償還5,000百万円に加え、年末の売上増加などに伴う未払酒税の増加5,476百万円などにより、前連結会計年度末に比べ12,841百万円増加し、99,130百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金の増加2,968百万円がありましたが、株主還元策としての自己株式取得などによる自己株式の増加(純資産の減少)1,196百万円、その他有価証券評価差額金の減少1,229百万円、円高による為替換算調整勘定のマイナスの拡大1,324百万円などにより、前連結会計年度末に比べ885百万円減少し、108,320百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益9,030百万円、減価償却費3,352百万円に加え、例年の年末最需要期の売上増加による売上債権の増加額△14,636百万円、同じく未払酒税の増加額5,477百万円や、法人税等の支払額△3,849百万円などにより、前年同期間より407百万円増加の2,897百万円となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、FOODEX S. A. S.株式の取得による支出△3,384百万円、定期預金の預入による支出(払戻とNET)△3,286百万円、有形及び無形固定資産の取得による支出△2,154百万円などにより、前年同期間に比べ△2,673百万円支出が増加し、△8,502百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行による収入9,923百万円、社債の償還による支出△5,000百万円がありましたので、資金調達のなかった前年同期間に比べ5,535百万円増加し、2,308百万円の収入となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期業績予想につきましては、平成22年11月4日に期初予想の修正(売上高のみ)を行いました。第3四半期が終了した時点では修正予算通りに進捗しておりますので、平成22年11月4日に公表した連結業績予想を見直していません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

記載すべき事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

この変更により、営業利益及び経常利益はそれぞれ13百万円、税金等調整前四半期純利益は438百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は487百万円であります。

企業結合に関する会計基準等の適用

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成20年12月26日）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」（企業会計基準第23号 平成20年12月26日）、「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成20年12月26日）、「持分法に関する会計基準」（企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分）及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	27,319	31,500
受取手形及び売掛金	60,765	45,781
有価証券	18,144	14,283
商品及び製品	19,170	20,534
仕掛品	770	876
原材料及び貯蔵品	2,954	2,841
その他	4,793	4,992
貸倒引当金	△71	△65
流動資産合計	133,846	120,745
固定資産		
有形固定資産	41,756	42,941
無形固定資産		
のれん	4,279	1,913
その他	1,972	2,062
無形固定資産合計	6,251	3,976
投資その他の資産		
投資有価証券	18,821	21,073
その他	7,025	7,005
貸倒引当金	△250	△246
投資その他の資産合計	25,596	27,832
固定資産合計	73,604	74,750
資産合計	207,451	195,495
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,224	13,972
短期借入金	10,624	10,140
1年内償還予定の社債	—	5,000
未払酒税	13,416	7,939
未払費用	4,007	3,775
未払法人税等	2,133	1,945
引当金	3,099	3,580
その他	6,230	5,309
流動負債合計	54,736	51,663
固定負債		
社債	25,000	15,000
長期借入金	585	579
退職給付引当金	9,766	9,445
長期預り金	6,245	6,391
その他	2,796	3,209
固定負債合計	44,393	34,625
負債合計	99,130	86,289

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,226	13,226
資本剰余金	3,197	3,198
利益剰余金	86,754	83,785
自己株式	△5,847	△4,650
株主資本合計	97,330	95,559
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,778	4,007
繰延ヘッジ損益	△43	18
為替換算調整勘定	△4,243	△2,918
評価・換算差額等合計	△1,508	1,106
少数株主持分	12,499	12,540
純資産合計	108,320	109,206
負債純資産合計	207,451	195,495

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	147,932	147,969
売上原価	89,345	89,423
売上総利益	58,587	58,545
販売費及び一般管理費		
販売促進費	20,773	20,831
販売促進引当金繰入額	1,770	1,936
賞与引当金繰入額	583	610
その他	26,206	25,892
販売費及び一般管理費合計	49,333	49,271
営業利益	9,253	9,274
営業外収益		
受取配当金	301	322
その他	476	370
営業外収益合計	777	693
営業外費用		
支払利息	429	433
その他	101	236
営業外費用合計	530	669
経常利益	9,499	9,298
特別利益		
固定資産売却益	7	—
投資有価証券売却益	—	413
持分変動利益	6	—
その他	—	58
特別利益合計	14	471
特別損失		
固定資産除売却損	147	174
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	424
その他	89	140
特別損失合計	236	740
税金等調整前四半期純利益	9,277	9,030
法人税、住民税及び事業税	3,531	3,943
法人税等調整額	304	260
法人税等合計	3,836	4,204
少数株主損益調整前四半期純利益	—	4,825
少数株主利益	99	68
四半期純利益	5,342	4,757

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,277	9,030
減価償却費	3,589	3,352
受取利息及び受取配当金	△393	△415
支払利息	429	433
売上債権の増減額 (△は増加)	△13,777	△14,636
たな卸資産の増減額 (△は増加)	405	1,165
仕入債務の増減額 (△は減少)	469	1,132
未払酒税の増減額 (△は減少)	5,461	5,477
その他	979	1,236
小計	6,441	6,775
利息及び配当金の受取額	431	404
利息の支払額	△394	△432
法人税等の支払額	△3,988	△3,849
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,490	2,897
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8,232	△7,245
定期預金の払戻による収入	2,737	3,958
有価証券の取得による支出	—	△2,208
有価証券の売却及び償還による収入	2,539	2,197
有形及び無形固定資産の取得による支出	△2,501	△2,154
有形固定資産の売却による収入	26	40
投資有価証券の売却による収入	—	864
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△3,384
その他	△398	△569
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,829	△8,502
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の発行による収入	—	9,923
社債の償還による支出	—	△5,000
自己株式の取得による支出	△1,377	△1,201
配当金の支払額	△1,810	△1,788
その他	△38	374
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,226	2,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	△13	△173
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,578	△3,469
現金及び現金同等物の期首残高	33,666	33,624
現金及び現金同等物の四半期末残高	27,087	30,154

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

	酒類・ 調味料 (百万円)	バイオ (百万円)	物流 (百万円)	その他 (百万円)	計 (百万円)	消去又は 全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	124,186	13,255	6,022	4,466	147,932	—	147,932
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	491	307	6,341	4,297	11,438	(11,438)	—
計	124,678	13,563	12,364	8,764	159,371	(11,438)	147,932
営業利益	9,019	292	304	159	9,776	(523)	9,253

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、製品の種類・性質に加え販売市場の類似性などを考慮して、酒類・調味料、バイオ、物流及びその他の4事業に区分しております。

2. 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
酒類・調味料	焼酎、ソフトアルコール飲料、清酒、ワイン、ウイスキー、中国酒、本みりん、食品調味料、原料用アルコール
バイオ	研究用試薬、理化学機器、研究受託サービス、遺伝子工学研究関連特許実施許諾対価料、遺伝子導入関連製品、キノコ、ブナシメジ特許実施許諾対価料、バイオ医食品
物流	貨物運送業、倉庫業、流通加工業
その他	ラベル、ポスター、カタログ、カートン、段ボールケース、包装紙、販促用品、不動産賃貸、健康食品

[所在地セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

全セグメントの売上高の合計に占める「本邦」の割合が90%を超えているため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年12月31日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務諸表が入手可能であり、最高経営意思決定機関が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、持株会社体制移行時に新設された事業会社「宝酒造(株)」「タカラバイオ(株)」を中核企業とする各企業グループ、健康食品事業を営む事業会社「宝ヘルスケア(株)」及びその他で構成されており、当社は各事業会社を統括する持株会社であります。各事業会社は、各々取り扱う製品・サービスについて国内あるいは海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社グループは、従来の事業の種類別セグメントを基本としながらも、資本系統や経営責任・業績評価の単位を重視し、「宝酒造グループ」「タカラバイオグループ」及び「宝ヘルスケア」の3つを報告セグメントとしております。

「宝酒造グループ」は、主に酒類・調味料製品の製造・販売やこれらの附帯事業（物流など）を行って

ります。「タカラバイオグループ」は、研究用試薬、理化学機器、キノコなどの製造・販売や研究受託サービスを行っております。「宝ヘルスケア」は、健康食品などを販売しております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	宝酒造 グループ	タカラバイ オグループ	宝ヘルスケ ア	計		
売上高						
外部顧客への売上高	130,875	12,637	2,048	145,560	2,148	147,709
セグメント間の内部売上高又は振替高	728	398	3	1,131	4,062	5,193
計	131,604	13,035	2,052	146,692	6,210	152,902
セグメント利益又は損失 (△)	4,182	47	△186	4,042	90	4,133

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、機能会社グループを含んでおります。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

当第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

（単位：百万円）

利益	金額
報告セグメント計	4,042
「その他」の区分の利益	90
セグメント間取引消去	198
事業セグメントに配分していない損益（注）	425
四半期連結損益計算書の四半期純利益	4,757

(注) 主として持株会社（連結財務諸表提出会社）に係る損益であります。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。